



この一ヶ月も現場でどろどろになったり徹夜で机にかじりついていたりしていたが久しぶりに日光の雪原を見えた。

雪の後の橋の調査は機材も服もどろどろになるがそんなことはまあ良い。問題は自分の背丈程度のコンクリートの上に一気に登れなかったことだ。なんだか登る前から手の力が萎えた気がして、ジャンプ力にも不安があった。なんだからわからなかったがあとで右足のアキレス腱が急に痛んで歩くのにつらいくらいだったのでその前兆だったかも知れない。しかしなさないことだ。

そのあとすぐ、足をかばいながらも友人達と日光へ行った。奥日光は真っ白な雪原で - 8 ° C、湯の湖は氷の板になり、風が来ると粉雪が空に舞ってきらきらと輝いていた。中禅寺湖畔の宿の2階から久しぶりにスケッチをし

た。大きなスケッチブックをもっていくなんで何十年ぶりだろう。何時も動きながら描くようなものだからせいぜいノート位の大きさで今日はなんだか絵描きになったような気がする。浴衣を着て暖房のきいたガラス窓のなかのソファからぬくぬくと暮れてゆく山々をゆっくり描くという絵描きとしたらばちあたりなことをしていた。しかし描いていても後ろの女性陣がトランプをはじめのやら風呂だお菓子だ「鳥さんが・・・」とかにぎやかで、どうも落ちつかない、結局1枚描いて日が暮れたのであとはアルコール方面に突入した。宿の小太りな主人の料理はそつなく、「あのひと、熱燗つけたところみたことないけど大丈夫かしら。」という心配もあったが、けっこういい爛どころで酒だけで15本を開けた。部屋にもどって布団をしいて、何時倒れてもいようにしてからまた、一騒ぎ。酒と、ビールと、ワインと、ウイスキーで、夜中をすぎる頃は一人倒れ、一人布団にもぐりこみとほぼ全滅した。ようやく本日の苦行が終わったかとほっとしてあいている布団にもぐりこむ。一寝入りしたと思ったら頭の上でブシュという音で、われにかえってがぼっと起きたら、トキジーさんが隠れてビールの栓をあけた朝3時50分。「見つかってしまいましたかー。」としかたなくコップを持ってきてくれて、一杯やってまた寝た。油断も隙もあったもんじゃあない。これじゃあおちおち寝てられんと思ひながら寝込んでしまって、朝はぼーっとして雪景色を見ながら温泉に入って目を醒まし、飯を2杯食った。

何年前かにカトマンズの空港で飛ばないヒコーキを待っていて目の前をチョロチョロしていた国籍不明のおねーちゃんに「ねー、ニッポンの人？」と声をかけてから会うよーになった人達、ネパール行きで面倒を見てもらって一緒に往復してからずーっと海外の手配及び宴会担当のヒト、25年前に渋谷駅前であってからずーと飲んでいるひと、昔詩集を作っていて感性のガラスのような人だと思ってから早20年のヒト、その友人達、など、本当にヒトってどこでどうなるかわからないものです。大きな会社にいたことがないからそういう友人ばかりです。あれから温泉やハイキングはもちろんネパールや、モンゴル、イギリス、アメリカとテントや、ロッジ、ゲルなどを泊まりまわって、唄ったり踊ったり騒いだり、馬で行ったりヘリで飛んだりして、今、みんなでこの雪の上で風に吹かれて震えている。考えてみたら贅沢なものです。この贅沢ももう少し続きそうです。あと10年後はどうなっているんでしょーね。私はかなり厳しい時代になっていると思っています。だってそのころには東南アジアの諸国がもっと明るく元気になって、この国にはテストだけ点がとれるガキみたいな大人ばかりになって、日本の製品なんて売れないんじゃないかなー。そうしたら食材だって買えないものねー。やっぱり遊ぶなら今ですかねー。もっとつらい冬が来るのか、大逆転でバランスの良い住み良い時代がくるのか、ただ、今の子供達の成人病的なぼーっとしたような顔を見ていると心配です。もうひとがんばりが必要なようです。

1月の「ノーム工作室」ホームページを作る人が来ています。2月は製本をやります。1日2500円+実費でおこないます。場所はノームプランニング（JR両国駅東口から徒歩5分、京葉道路ぞい、本所警察隣、永谷寄席の上11階9号室）です。日程は希望によりますが、追ってホームページにのせます。

TEL/FAX 03-5600-0195 高村 哲

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

GnomesJpn@aol.com